

令和8年度 第2回 蜷塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年7月17日（金）13時30分から15時10分まで
- 2 開催場所 蜷塚中学校 会議室
- 3 出席議員 川上 玲子、橋本 憲幸、佐々木 知成、鳥居 大資、山田 谷一、
中村 秀樹、野村 賢一、矢野 貴恵
- 4 欠席委員 袴田 智恵美
- 5 学校支援コーディネーター 橋本 かずよ
- 6 学 校 羽生 和斉（校長）、門名 由佳（教頭）、水野 佳史（CS担当）、
粕谷 美奈穂（CSディレクター）
- 7 教育委員会 磯部 志保（学校・地域連携課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 粕谷 美奈穂

10 議長の選出

鳥居委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項 熟議

- （1）代表生徒と意見交換
- （2）特色ある学校づくりに向けた取組み
- （3）昨年度の取組みから活動策検討
- （4）その他 命の講話、SPORTSDAY

12 会議記録

司会の水野から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）代表生徒と意見交換

議員の指示により、代表生徒から活動内容等について説明があり、委員から以下の発言があった。

・スローガンはアンケートを取って決めたのか。（佐々木委員）

→生徒会会長選挙で立候補する際に自分達でスローガンを決めている。（生徒）

・蜷塚テレビ局の番組制作にはどれくらいの時間をかけているか。（山田委員）

→最初は時間が多くかかったが、今回は短時間でできた。（生徒）

・テレビ配信は月1回か。放送内容は事前に知らされているか。（中村委員）

→月1回、給食の時間に全クラスにテレビ配信をしている。放送内容はその時のお楽しみ。（生徒）

・学年越えた交流という意味でテレビを通して、クラブの新人紹介などを取り入れると思う。（中村委員）

・なぜテレビを選んだのか。（野村委員）

→「生徒だより」はポスターなどの紙面だったが、一部の人しか見てくれなかった。テレビ配信を給食の時間に行うことで全生徒が見るため影響力があると思い選んだ。YouTubeよりテレビ配信がわかりやすいと思った。構成なども生徒のみで考えた。(生徒)

・選挙の方法について教えてください。(川上委員)

→1人1人公約を発表し、事前に知らされていた質問やその場で出された質問に答えた。渡り廊下で選挙運動、演説は映像で行った。投票はタブレットで行った。(生徒)

・「N0 チャイムにしよう」と決めたのは執行部で考え、実施する時に全校生徒の投票を経て行ったのか。もしくは執行部で必要だと考えて決定したのか。(鳥居委員)

→最初に教務の先生と話し合った後に生徒委員会という学級委員が集まる場所で話し合っ
て全校生徒にアンケートをとり、段階的に減らした。蜷塚テレビ局で実施していくことを
伝えた。(生徒)

・縦 season イベントの中で七夕を行い、願い事を募集したようですが、どれくらいの願
い事が集まり、どのように願い事を叶えたのか(矢野委員)

→50個ほどの願い事が集まった。蜷塚テレビ局内でコーナーを作り、蜷塚中のキャラク
ターしじみんが回答するようにした。実現できないものもあったが、返事が難しいものは
「無理」「ひみつ」等と返事をした。(生徒)

・毎月の目標決めや学校行事を生徒主体で行うために生徒が考え決める場面を増やしてい
るようだが、決める過程で難しいと感じたことがあれば教えてください。(矢野委員)

→最初のスローガン決めが難しかった。何もない状態から公約を決めたので生徒の皆さん
がどういう公約を求めているかを考えることが難しかった。(生徒)

→生徒委員会を月1回行っているが、学級委員からの意見をまとめるのが大変だった。

(生徒)

→N0 チャイム実現に向けて生徒委員会の時に学級委員にアンケートを行った。賛成や反
対の理由を書いてもらった。賛成が多かったが、反対意見もあった。N0 チャイムを実施
して生徒自身がそれでよいのか、しっかり話し合いを行った。(生徒)

→みんなで目標を決める場合、必ず全員が賛成してくれるわけではない。反対意見もきち
んと聞いて取り入れるということが難しかった。(生徒)

→1、2年で学級委員を経験していたが、決まりを決める時にたくさん話し合いをしてき
た。決まったことに対して不満を持っている人たちを突き放すことはよくないと思う。結
果的に全員が笑顔で楽しく過ごせる決まりを決めることが難しかった。(生徒)

→班活動などでまとめる時に難しさを感じた。初めころはルールに対して柔軟な考えを
持つことが難しかった。反対意見があった時に突き返してしまったことがあった。生徒会
役員になり、学校の課題や生徒一人一人の良いところを探せるようになった。(生徒)

・「自分の思ったことを形にしたい」「こんな学校にしたい」など、自分の意見を伝えてい
くとよい。今の時代は主体的な考えを言うことができるようになっている。できなかった
ことを悲観するのではなく、できないという答えが出たこともよい経験だと思う。臆せず
進んでほしいと思う。(橋本委員)

・蜷塚キッズボランティアでボランティア指導をしていた。どういうことができるのか形にして地域に貢献できる子供に育ててほしいというところから目標を掲げて活動をしてきた。始めはこういうボランティアがあるよと提案して活動していた。途中から中学生の皆さんが何をしたいのか考えたことを形にするようにボランティアを行ってきた。現状で皆さんは地域に貢献できる地域とのつながりで自分が何かしたい等、こうしてみたいというものがありますか。(川上委員)

→地域の方は、毎朝見送りや挨拶などを行ってくれている。生徒が考えたプロジェクト(例えば、ゴミ拾いなど)で地域を活性化させていこうと考えて、学校と地域がもっとよい関係になってくれたらよいと思う。(生徒)

・地域と連携してできることで自治会の方々と掃除、秋祭りを一緒に盛り上げる、浜松まつりなど子供たちの力を借りて盛り上げようというものもある。地震や台風被害にあった時に、募金活動を行ったことがある。学校から一歩でたところで何ができるか考えて活動して頂けると嬉しい。校内でも強みはあるが、地域にも貢献するという意味で頑張っていると地域の方にも地域以外の方にも伝わっていくと思う(川上委員)

・社会の課題として、この地域に住んでいる方で朝のゴミを出せない方がいる。身体が動かない等の理由でゴミ置き場まで行くことができない方もいる。そんな時にゴミ出しの手伝いができると思う。学校の外にも課題があり、実は必要とされている。(鳥居委員)

・学年を越えた交流が少ないということだが、自分の時代は部活動だった。それが少ないということは、放課後に変化がおきていると感じた。主体性が低いという課題をあげているが、能動的に動くには経験と知識が必要になる。それがいない状態で能動的に動くのは、よい判断ができるか大人からすると不安材料になってしまいそうだ。(鳥居委員)

・まず自分から挨拶をするとよい。今の時代は大人から声をかけにくいので、生徒から挨拶すると嬉しくなり挨拶が返ってくると思う。明日からでもできる主体性という部分だと思う。高校では、球技大会や合唱コンクールなども学年毎に行うのではなく、学年関係なくくじ引き等でも対戦相手を決めている。(野村委員)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(2) 特色ある学校づくりに向けた取組み

議長の指示により、門名教頭から、特色ある学校づくりに向けた取組みについて説明があり、委員から以下の発言があった。

・「ようこそ先輩！」について

11月17日(火)梶 望氏の講演会を行う。

司会は生徒、講師紹介を佐々木委員が務める。

・「語りかけの報告」について

各学期に1回行う。1学期は5月に行った。学級担任外、養護教諭、栄養教諭、用務員、事務職員も各学級で話をした。2学期は縦割りで他学年の担任が行い、3学期は1学期同様の方法で行う。

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(3) 昨年度の取組みから活動策について

- ・「トークフォークダンス」の実施に向けて

3月9日(火) 13:30~15:00 司会は矢野委員。

昨年のご意見を生かして運営を行っていく。全体のトークタイムは少し短くする。昨年はトークテーマを20項目程準備していたが、今回は15項目程度にして少しゆったりと話せるように設定する。(自己紹介、お題、話す時間1分×2人、計4分程度。)

- ・地域の方を集めるのを苦労されていると思う。この行事を続けたい思いも分かるため、1対2でもよいと思って行った方が、続いていくのではないかと(野村委員)

- ・「面接の受け方」講座について

今年度の実施日は1月20日(水) 13:20~15:10、2月17日(水) 13:20~15:10

2人×4学級で8名の面接官が必要。昨年は3グループ6名で行うことができたが、生徒の志望校によるため現時点では8名でお願いしたい。人数が揃わない場合は委員から面接官の推薦をお願いしたい。教員と面接練習をしているが知らない方と面接練習ができるのはよい機会だった。

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(4) その他

- ・「命の講話」について

- ・難病のお子さんとお母さんがどんな生き方をしていくというテーマだった。お母さんは子供を治したいが、今の医学では治らないから早く医学が進歩してほしいという気持ちが伝わってきた。そこから命についてどう捉えていくか子供たちは難しい面があったのではないかと(中村委員)

- ・この講演前に新貝さんが、浜松市の小中学校に自作の絵本を1冊ずつ寄贈された。道徳の時間でこの絵本の題材を使って事前学習を行った。毎年6月初旬に浜松では、いのちについて考えることをテーマに各学校で取り組んでいる。来年度は生徒集会を行うことも考えている。(羽生校長)

- ・「SPORTSDAY」について

- ・昨年よりゴール位置が改善されて見やすかった。徒競走は全員でることが多いようだが、いくつかの種目から選んで出場するようだ。進行などの内容も生徒が考えているところもすばらしいと思う。(中村委員)

- ・生徒達が内容を考えている。主体性という意味で成功していると思う。(川上委員)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

13 報告(学校支援CDより)

- ・1学期の実績について

図書の掲示物ボランティア 5月21日、7月16日

読み聞かせボランティア 6月17日(3年)、6月24日(2年)、7月1日(1年)

調理実習補助のボランティア 7月1日、7月8日

登録は9名。1年生の白玉団子の補助を行った。昨年1クラスに対して2, 3人の補助だった。今年度は各クラス6人で各班1名ずつ補助をすることができた。

14 その他報告事項等

- ・文化発表会日程 10月27日（火）9:30～ アクトシティ中ホール 合唱コンクール
10月28日（水）10:20～ 体育館 部活動などの発表
- ・次回会議は、11月19日（木）13:30～ 始めに授業参観を30分程度予定している。議長は、山田委員が務める。